死の間際に後悔する３つの事

では早速

１．人の目を気にせずに生きれば良かった

メデューサに睨まれて石に変えられてしまったのでしょうか？周りの目を気にして、言いたい事は言えず、行動出来ずと言う集団主義性が強い日本においてはかなり典型的な後悔でしょう。

２．恐怖に立ち向かえば良かった

恐怖は一時的な物。それに立ち向かい、敗れたとしても、その痛みも一時的。しかし、恐怖に立ち向かわず、逃げた時の後悔は死ぬまで精神を侵食する毒でしょう。

３．働き過ぎた

「何のために、あんなに働いたのか？」と言わんばかりに、あまりにも仕事に時間を割いた事に対する強い後悔。より豊かな人生を送るための仕事であったはずなのに、「全てはどこへ行ったのか？」と死の間際、発狂する事でしょう。

多くの人が死の間際に後悔する事、そこから逆算して人生を過ごせば、あなたは同じ末路を辿らずに済むのではないでしょうか？